

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 政治姿勢について	<p>(1) 市長選を通して「誰ひとり取り残さないまちづくり」を掲げ、8つの基本的な考え方に基づく政治姿勢が示された。そこで、市民の声をどのように受け止め、市長自身が掲げた施策の実現に向け、4年間のかじ取りをどのように行う考えであるか、以下について問う。</p> <p>① 「新型コロナウイルス感染症対策にしっかり取り組む」としているが、基本的な感染症対策に加え、疲弊した地域経済の活性化策について具体的な考えを示せ。</p> <p>② 「稼ぐ志布志をつくり、安心して働けるまちを目指す」として、いくつかの取組を掲げているが、より具体的な戦略についての考えはあるか。</p> <p>③ 「まちの活性化と人口増を図る」としているが、人口を増やしていく展望は描けているか。</p> <p>④ 「安心して子育ての出来るまちを目指す」と示された中に、具体的項目として「小中学校の在り方検討」を掲げているが、どのような考えを持っているのか。</p> <p>⑤ 「魅力的で安心して暮らせる持続可能なまちを目指す」として、ゼロカーボンシティ宣言がうたわれ、LGBTQへの理解度浸透などジェンダー平等にも取り組む覚悟がうかがえたが、その考えを示せ。</p> <p>⑥ 「身近で安心な医療体制の充実を図る」ことについて、具体的に「市内近辺に総合病院の誘致を目指す」と示されているが、具体的な展望はあるのか。</p> <p>⑦ 「グループ制導入とデジタル化で行政サービスを円滑にする」としているが、行政のデジタル化について、どの程度まで踏み込んで改革を進めるつもりなのか。</p> <p>⑧ 「SDGs達成のための参加を促進する」としているが、本市として具体的にどのような関わり方を考えているのか。また、そのことによって市民生活にどのような影響を及ぼす可能性があるかと考えているか。</p>	市長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	1 所信表明 について	(1) 市政運営に対する基本姿勢について ① 今回の市長選挙で示された市民の皆さんの信任の結果をどのように受け止め、今後の市政運営に反映させていくのか、市長の率直な認識を問う。 ② マニフェストには1期4年間で取り組んだ事が示され、所信表明でも「市民と約束した様々な施策を実現することができた」とあるが、一方でどんな項目が具現化できなかったのか、道半ばだったのか問う。 ③ 「市民が主役のまちづくりを基本に、誰一人取り残さないまちづくりを目指し、その実現のために市民目線・民間感覚による効果的かつ効率的な行政サービスを提供するため、職員の意識改革を図る」とあるが、その具体的な方策について問う。 (2) 政策ビジョンについて ① 「稼ぐ志布志をつくり、安心して働けるまちを目指す」について ア 「本市を取り巻く環境や社会情勢の変化、多様化・複雑化する市民のニーズに的確かつ柔軟に対応できるよう、行政組織を再編し、市民サービスの向上と行政機能の効率化を図る」とあるが、現時点での展望を示せ。 ② 「安心して子育てのできるまちを目指す」ことについて ア 児童・生徒一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが重要であることから、「保護者や地域とともに小中学校の在り方を検討する」とあるが、これまでどのような議論があり、所信表明となったのか問う。 イ 「結婚・妊娠・出産・子育て・教育・仕事との両立など、ステージに応じた各種支援策の充実を図る」とあるが、それには庁内横断的な視野と施策が必要と思うが考えを問う。 ③ 「身近で安心な医療体制の充実」について ア 「安心して暮らせるために、総合病院の誘致を目指す」とあるが、現時点での展望と不足する産科医の確保に向けたこれまでの取り組みについて問う。	市 長 市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	1 所信表明 について	④ 「グループ制導入とデジタル化で行政サービスを円滑にする」について ア 「グループ制を導入することにより、機能的かつ能率的な事務の執行や緊急時における業務継続が可能となる行政組織を構築する」とあるが、1期目において、このことが進まなかった理由と今後の課題について問う。 イ 「DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組を推進し、業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげる」とあるが、現時点の課題と今後の展望について問う。	市 長 教 育 長
3 稲付洋平	1 農業の振 興について	(1) 農業の現場は、労働力の慢性的な不足、経営的な負担の増大に伴う農業従事者の減少が懸念されている。現状の打開には若い農業の担い手の確保が急務と考えるが、市としての取り組みについて以下を問う。 ① 新規就農者に対する補助制度にはどのようなものがあるか。 ② 新規就農者数に伸びがみられない原因の検証がなされているか。 (2) 現在、農林水産省ではスマート農業の実証、分析、普及を推進しており、既に本市でも導入している生産者もいるが、本市における今後の展開や取組について問う。 (3) 所信表明において「志布志港を活用した農林水産物等の輸出促進に向けて取り組む」とあるが、具体的な方針並びに輸出品目、輸出量、取組を開始する時期など今後の計画について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 カーボン ニュートラ ルについて	(1) 政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言したが、脱炭素の基盤となる重点対策について、今後、市として取り組む内容について問う。	市 長
	3 食料自給 率の向上に ついて	(1) 食料自給率向上の取組として、地産地消の拠点となる直売所等を設置し、高齢者・小規模農家が活躍できるモデル的な生産・流通体制づくりを行う計画はないか問う。	市 長
	4 本市の自然を 生かした地域 活性化につ いて	(1) 合併前、有明地域の岳野山に、山全体を活用した「ワイルドパーク」という巨大なアスレチック施設があったが、人と自然のポテンシャルを引き出すために、同様の施設整備を市内に計画できないか問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3 稲付洋平	5 ふるさと納税について	(1) ふるさと納税の寄附額の推移、現状について問う。 (2) さらなる寄附額の増を図るために、具体的には今後どのように取り組んでいくのか問う。	市 長 市 長
4 南 利 尋	1 経済対策について	(1) 長期にわたるコロナ禍において、市内事業者に対しては今後どのような支援事業に取り組んでいく考えか問う。 (2) スピード感ある地域経済の底上げを図るためにも、全市民に対して、市内で利用可能な商品券の配布を行うべきではないか問う。	市 長 市 長
	2 観光振興について	(1) 夏井地区の国道沿いにある廃墟の所有者との協議について、進捗状況を問う。 (2) ダグリ岬周辺整備事業の進捗状況について問う。	市 長 市 長
	3 地域振興について	(1) 地域住民の声をしっかりと聞き、旧出水中学校校舎の解体も視野に入れた跡地の利活用を図るべきではないか問う。	市 長
	4 環境行政について	(1) 令和3年第3回定例会でも、市内で散見されるたばこのポイ捨てについて質問したが、対策を講じるべきではないか問う。 (2) 火災や自然災害で罹災した場合に排出されるごみについて、処理方法の在り方を問う。 (3) 市民の声をしっかりと聞き、持続可能なごみの分別と搬出の在り方を検討すべきではないか問う。	市 長 市 長 市 長
5 八代 誠	1 農業施策について	(1) 本市農家は、新型コロナウイルス感染症の拡大及びサツマイモ基腐病などにより多大な影響を受けている。現在、国・県や本市で取り組んでいる支援事業について問う。 (2) 不安定な世界情勢の中、原油価格の高騰が懸念される。市内農家の経営継続に関する市長の考え方を問う。 (3) 有害鳥獣対策については、本市議会の一般質問でも多く取り上げられており、懸命な対応が継続されていると思うが、現状について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 押切海岸の浸食とその対策について	(1) 押切海岸における堤防浸食の現状と今後の堤防復旧（築堤）について問う。 (2) 鹿児島県が策定している「大隅沿岸保全基本計画（平成30年3月変更）」が示す、人工リーフ周辺の改修及び砂浜の復元について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6市ヶ谷孝	1 所信表明 について	<p>(1) 「庁舎等の在り方検討委員会からの提言を踏まえた上で、更なる本庁舎機能の充実に取り組む」とあるが、市長の考えと今後の展開について問う。</p> <p>(2) 「効果的な支援策を総合的に検討し、更なる子育て支援の充実に図る」とあるが、給食費無償化に向けた今後の見通しについて問う。</p> <p>(3) 「テレワークやワーケーションといった多様な形で地域と関わる人や企業を増やす」とあるが、市長が思い描くビジョンについて問う。</p> <p>(4) 「多様な主体との連携や民間事業者等との包括的な連携を積極的に活用し、SDGsの達成に向けて取り組む」とあるが、本市における現状と今後の取組について問う。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 共同墓地 について	(1) 各自治会や地域団体が管理する共同墓地について、地域住民が安心して利用できるよう、その整備や復旧に関して行政の支援が必要になってきていると考えるが、市長の考えを問う。	市 長
7福重彰史	1 道路行政 について	<p>(1) 県道柿ノ木・志布志線、弓場ヶ尾地区の拡幅改良について、その計画はどのようになっているのか、また、今後の見通しを示せ。</p> <p>(2) この路線に対する市の考え方や位置付けを問う。</p> <p>(3) 今後の事業計画及び事業実施に向けどのように取り組んでいく考えかを問う。</p>	市 長 市 長 市 長
	2 所信表明 について	<p>(1) 敬老祝金について</p> <p>① 節目支給から一律支給へ見直しを表明されているが、その判断に至った心情について問う。</p> <p>② 実施については、いつからの予定で考えているか。また、対象年齢についての考えを示せ。</p> <p>③ 支給方法について、どのように考えているか示せ。</p> <p>(2) サツマイモ基腐病対策について</p> <p>① 基幹作物であるさつまいもは、基腐病のまん延によって大変深刻な問題となっている。これまでの被害状況を示せ。</p> <p>② 国・県の防除対策等が示されているが、市としての防除対策や支援策をどのように考えているか示せ。</p> <p>③ さつまいもに代わる作物の選定や、農地の賃貸借契約の解除に伴う対応策をどのように考えているか示せ。</p>	市 長 市 長 農業委員会会長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8 鶴迫京子	1 所信表明 について	<p>(1) 安心して子育ての出来るまちづくりについて</p> <p>① 「特別支援学校の誘致について取り組んでまいります」とあるが、所信表明に至った背景と意義、また、これまでの経緯について問う。</p> <p>② 「県立牧之原養護学校へ通学する児童生徒の肉体的・精神的な負担や緊急時の対応を含めた保護者の不安などの要因を解消するため、関係機関と連携する」とあるが、どのように進めていくのか具体的に問う。</p> <p>ア 保護者との連携について</p> <p>イ 県との連携について</p> <p>ウ 市民との連携について</p> <p>③ 特別支援学校の誘致、推進にあたり、問題点をどのように考えているか。また、今後の見通しについて問う。</p>	市 長 教 育 長
9 小園義行	1 所信表明 について	<p>(1) 「市立小中学校21校で国が示す適正規模校はなく過小規模校が増加することが見込まれる。保護者や地域とともに小中学校の在り方を検討していく」と述べている。その本意を問う。</p> <p>(2) 「特別支援学校の誘致に取り組んでいく」と述べている。どのように進めていく考えか。</p> <p>(3) 「誰もが安心して暮らせるまちを目指します」として防災対策等が述べられている。避難困難者対策等について問う。</p> <p>(4) 敬老祝金について、「全ての高齢者を敬い、長寿を祝うため、支給方法を一律支給とする」と述べている。節目支給を見直す考えか。</p>	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 介護保険 について	<p>(1) 第9期に向けて制度の見直しの検討が今春から始まる（利用料2割負担・3割負担の対象拡大。要介護1・2の生活援助等の見直し、ケアプランの有料化、多床室で室料負担を求める対象施設の拡大、被保険者・受給者の範囲の見直し等）。こうした状況をどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 今回提案されている介護職の給与引き上げが2月から9月までは交付金（令和3年度補正予算）で実施し、10月以降は介護報酬上での対応になる。国に負担が過重にならないように声を上げるべきではないか。</p>	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 小園義行	3 農政について	(1) 水田活用の直接支払交付金について、令和4年度からの5年間で一度も水稲の作付が行われない水田は、令和9年度以降交付対象としない方針が示された。本市への影響はどうか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 教育行政について	(1) 家庭での学習時間を確保し、学習習慣の確立を図ることで、学びの深まりや学力向上に取り組むとしているが、本市の現状と今後の取組について問う。 (2) 学校現場では、子供たちにタブレット端末や書画カメラ等によるICT機器を活用した授業が推進されているが、その現状と効果について問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 農業振興策について	(1) 昨今の社会情勢は、全ての農産物にあらゆる影響を及ぼしている。特に資材価格等の高騰によって農家の生産意欲が減退し、離農者が増えることも心配される。また、新規就農者において設備投資等が厳しい現状のようである。今後、何らかの手立てを考える必要があるのではないかと問う。	市 長
	3 道の駅松山「やっちくふるさと村」の活性化について	(1) 道の駅松山「やっちくふるさと村」の活性化は、指定管理者のみならず地域の願いでもある。包括的な見地を鑑み、対策を講じる必要があると感じるが見解を問う。	市 長
2 西江園 明	1 教育行政について	(1) 小学校における児童の問題行動に対する学校、本市教育委員会の対応の在り方について問う。 ① 複数の児童が転校に至るような場合について、どのように認識しているか。 ② 解決のために外部機関等へ相談するなどの対応を行っているか。 ③ 志布志市いじめ防止等に関する条例に基づいた取組が行われているか。	市 長 教 育 長
	2 定住促進（人口増）対策について	(1) 本市への定住を促進するためにこれまで取り組んできた各種対策の現状と、実際に本市への定住につながったケースについて問う。 (2) 農業公社が取り組んでいる研修事業は、定住の促進と人口増に大きく寄与していると考えますが、その周知・広報にもっと力を入れるべきではないかと問う。 (3) 市職員が定住促進の対策を自由に提案できる雰囲気醸成や環境の整備がされているか問う。	市 長 市 長 市 長
	3 乗り合い送迎サービス事業について	(1) 乗り合い送迎サービスとして運用している「チョイソコしぶし」について、市民の利便性向上と利活用促進のために、運行時間の見直しができないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 西江園 明	3 乗り合い送迎サービス事業について	(2) 視覚や聴覚に障がいがあり、電話での予約が難しい市民もいる中で、現在の予約手続きの在り方を見直す考えはないか。	市 長
3 小辻一海	1 職員の勤務の在り方と健康管理について	(1) 事務事業マネジメントシートを活用しながら事務の適正化を図るとともに、過重な業務が原因で市民サービスの低下を招かないよう、職員数の十分な配置がされているか。 (2) 職員が働き方・生き方を選べるワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた取組と課題について問う。 (3) 令和元年4月から、労働基準法等の改正によって長時間労働が是正されたことに伴い、職員が健康で働き、活躍できる環境整備を図ることが市民サービスにつながるものとするが、働き方の現状と取組の内容について問う。 (4) ストレスチェック検査の取組状況と、メンタルヘルス不調者を減らす職場改善対策をどのように考えているか。 (5) パワーハラスメントやセクシュアルハラスメント防止対策の重要性の認識と対策について問う。	市 長 教 育 長 市 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
4 青山浩二	1 新型コロナウイルス感染症の予防対策及び感染者への対応について	(1) 新型コロナウイルス感染症の発症を予防する効果と重症化を予防する効果が期待されているワクチンについて、本市における現在までの接種率について問う。 (2) 小児接種はどれくらい進んでいるのか。また、小児接種における副反応の報告はなされているのか問う。 (3) 本年7月から本市においても4回目のワクチン接種が始まる予定であるが、その内容について問う。 (4) 市民の不安解消と無症状陽性者の早期発見を目的として、本市ではPCR検査費用の一部を助成しているが、これを無料化する考えはないか問う。 (5) 感染者への療養期間中の支援体制はどうなっているのか。また、感染者へ傷病見舞金を給付する考えはないか問う。 (6) 令和3年9月定例会において、小・中学校における感染対策について質問したが、その後の進捗状況について問う。	市 長 市 長 教 育 長 市 長 市 長 市 長 市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 青山浩二	2 教育行政について	(1) 小規模校入学特別認可制度（特認校制度）について、その概要と内容について問う。 (2) 特認校へ転入学を認められた児童への通学補助について問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	3 本庁舎移転計画について	(1) 令和3年11月の庁舎等の在り方検討委員会からの提言をどう受け止めたか。また、今後においては、さらなる本庁舎機能の充実に取り組むと所信表明で述べているが、具体的な計画について問う。	市 長
5 永田 梓	1 資源ごみ収集について	(1) 各自治会やアピア前市営駐車場で実施されている資源ごみ収集について、現状と違反ごみに対する対応について問う。 (2) アピア前市営駐車場で月2回実施されている資源ごみ収集について、より広い場所を確保し、収集回数を増やすなど、市民に寄り添った資源ごみの収集方法は考えられないか問う。	市 長 市 長
	2 志布志市生物多様性地域戦略の推進について	(1) 令和3年3月に策定された志布志市生物多様性地域戦略の中で、「5つの将来像を実現するため、各主体（市民、事業者、各種団体、行政機関）の連携と協働の下、志布志市生物多様性地域戦略を推進するため「志布志市生物多様性センター」（仮称）を設置する」とあるが、どのようなセンターを設置するのか問う。	市 長
	3 歴史遺産の活用について	(1) 「歴史遺産を保存活用し、次の世代に引き継いでいく責任を果たす」と所信表明で述べているが、どのように引き継いでいくのか問う。 (2) 観光ガイドの活動状況及びガイドの育成・活用推進の在り方について問う。	市 長 教 育 長 市 長
6 小野広嗣	1 地方公共団体情報システムの標準化について	(1) 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」が制定され、令和7年度までに「Gov-Cloud（ガバメントクラウド）」上で基準に適合した情報システムを利用する形態に移行することを目指すことになるが、本市の認識と今後の取組について問う。	市 長
	2 AIチャットボットの導入について	(1) AIチャットボットは、会話形式による自動応答により、24時間365日、問合せが可能なシステムである。コロナ禍の影響もあり、新型コロナウイルス感染症等に関する市民からの質問にAIが24時間回答するなど、様々な用途に活用でき、導入する自治体が増えている。本市も導入に向けて検討する考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 小野広嗣	3 子育て世代包括支援センターについて	(1) 子育て世代包括支援センターは、妊娠期から出産、子育て期までの切れ目ない支援を行い、育児不安の軽減等を図ることを目的としており、様々な相談に応じる場として重要な役割を担っている。事業内容も多岐にわたるが、現状の職員体制と運営状況について問う。	市 長
	4 市民に親しまれる港について	(1) 所信表明には「イベント等を開催することにより、市民が集い親しめる港としての活用を図る」とあり、今回の施政方針には、「自転車ロードレース大会を契機に市民から親しまれる港としての活用を図るとともに、サイクルツーリズムを推進する」とある。市民に親しまれる港としての、今後の展望について問う。	市 長
	5 図書館行政について	(1) 「読書バリアフリー法」が2019年6月の国会で成立し施行されて以降、「読書バリアフリー法」に基づく、本市図書館における具体的な取組について問う。 (2) コロナ禍の中、利用したい人が図書館に出向かずに本に親しむ方法として、公立図書館における電子書籍貸出サービスを実施する自治体が増えつつある。電子書籍貸出サービスは、電子図書館に登録された電子書籍について、図書館利用登録者が所有するスマートフォンやパソコンなどを使って、24時間365日いつでも予約し、閲覧することができるサービスである。本市も導入に向けて検討する考えはないか。	教 育 長 教 育 長
7 稲付洋平	1 漁業振興について	(1) 漁業は後継者不足が懸念され、高齢化が進んでいる状況である。また、地球温暖化により志布志湾の海中環境も変化しつつあることから以下について問う。 ① 「枇榔島沖にイセエビの増殖場を整備し、水産資源の維持・回復を図る」と施政方針で述べているが、継続的に整備していく考えはないか問う。 ② 新規漁業就業者に対して、市単独の就業支援資金制度を設けることはできないか問う。	市 長
	2 自主財源の確保について	(1) 自治体を実施する事業に共感した人から資金を募る寄附制度（ガバメントクラウドファンディング）を本市でも取り入れていく考えはないか問う。	市 長
8 南 利尋	1 森林伐採について	(1) 施政方針の中にも、「林道の適切な管理に努め機能維持を図る」とある。伐採後の林道の現状をどのように把握しているか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
8南 利 尋	1 森林伐採について	(2) 持続可能な林業振興に寄与するためにも、新たな条例などを制定し、安全・安心な林道機能の維持を図るべきではないか問う。	市 長
	2 新しいまちづくりについて	(1) 志布志インターチェンジ開通などにより、来訪者の増加が期待できるが、今後どのようなまちづくりを進めていく考えか問う。	市 長
		(2) 「稼ぐ志布志」を実現するために、ハード面からはどのような施策に取り組む考えか問う。	市 長
3 環境行政について		(3) 市内で新たに起業する事業者に対して、公平性を重視した補助事業に取り組むべきではないか問う。	市 長
		(1) 高齢者の多い地域では、ごみの分別と搬出の在り方が喫緊の課題になっている。どのような対策を講じる考えか問う。	市 長
		(2) ごみの分別や搬出に係る市民の意見や要望をしっかりと把握し、見直すべき点は早急に改善すべきではないか問う。	市 長
9丸山 一	1 農道の改良について	(3) 前回定例会でも質問したが、本市における埋立処分場の在り方を再度検討すべきではないか問う。	市 長
		(1) 野井倉土地改良区内の3号水路沿いの農道は、農業従事者はもとより、有明中学校の生徒の通学路としても利用されているが、幅員が狭く非常に危険であるので、安全性向上のためにも拡幅工事を行う考えはないか。	市 長 教 育 長
	2 市道の街路灯について	(2) 飯山地区から通山地区までの農道について、農業従事者の利便性向上につなげるために、拡幅・改良工事を行う考えはないか。	市 長
		(1) 一丁田・志陽・飯山・吉村の各地区へと通じる市道には、街路灯があまりにも少ないと感じる。実際に、夜間は非常に暗い現状となっていることから、増設等の対策ができないか問う。	市 長
3 安楽地区公民館の駐車場について	(1) 安楽地区公民館は、隣接する山宮神社の駐車場を使用しているような状況となっている。別途、専用の駐車場を確保すべきと考えるが、見解を問う。	市 長 教 育 長	
4 ふれあい広場（通山地区）について		(1) 現在、通山地区内にある「ふれあい広場」のトイレは和式であるが、高齢者の利用も多いことから、洋式化する考えはないか。	市 長 教 育 長
		(2) 指定管理者制度を活用した運営はできないか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10東 宏二	1 定住対策 について	(1) 本市でも人口の減少が進んでいる中で、奨学金の返還を支援し、人口増につなげられないか。今後の取組について問う。	市 長 教 育 長
	2 農業行政 について	(1) 近年、サツマイモ基腐病の影響が本市でも深刻な問題となっている。喫緊の対応が求められていると思うが、今後の支援や対策について問う。 (2) サツマイモ基腐病の拡大により作付面積が減少し、耕作放棄地が増加する一因にもなっている。本市における耕作放棄地の解消に向けた取組や対策について問う。	市 長 市 長
11隈元香穂子	1 子ども食 堂について	(1) 子供の貧困問題に地域で取り組むことを目的として、「子ども食堂」の開設が全国的に拡大しているが、本市における開設状況と支援体制の在り方について問う。	市 長
	2 子育て支 援について	(1) 大浜緑地について、子供たちが安心して遊ぶことのできるスペースが確保できているか。また、小・中学生、大人が楽しめる遊具の導入や、屋根のある休息場所の設置ができないか問う。 (2) 「雨天時でも、あらゆる子供たちが安心して遊び、学べる利用のしやすい児童館を設置してほしい」との声があることを踏まえ、検討できないか問う。 (3) 未就学児の療育、支援の在り方についての現状と今後の対応について問う。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	3 津波対策 について	(1) 夜間の地震・津波発生を想定した避難訓練の実施について問う。 (2) 市内に開設される各避難所における非常用物資の備蓄状況及び衛生環境の確保・対策について問う。	市 長 市 長
12市ヶ谷孝	1 高齢者福 祉について	(1) 近年増加の一途をたどる高齢化率と、高齢者における「夫婦のみ」、「単独世帯」が占める割合の多さから、一人暮らし高齢者の増加も年々顕在化している。こうした中、高齢者に対する食品・食事提供サービスの重要性はますます高まっていくと思われる。本市においても「食」の自立支援事業等を実施しているが、今後、より多様化する高齢者のニーズに対応するための柔軟かつ継続性を備えた事業の在り方をどう展開していくのか、考えを問う。	市 長
13小園義行	1 商業振興 について	(1) 国が2023年10月からインボイス制度を実施しようとしている。中小事業者の皆さんへの周知等、どのように対応しているのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
13小園義行	1 商業振興について	(2) インボイス制度が実施された場合、シルバー人材センターの運営にどういった影響があるか。 (3) 中小企業・小規模企業振興基本条例を制定し、経営を守る考えはないか。	市 長 市 長
	2 マイナ保険証について	(1) 現状と今後の対応を問う。	市 長
	3 教育行政について	(1) 文部科学省が4月27日付で支援学級の子どもを対象に「週の授業時間の半分以上を目安に支援学級で授業を行う」とし、通常学級での授業を半分以下にするよう通知を出した。本市の現状を問う。 (2) 文部科学省が3月にすべての新任教員が採用後10年目までに特別支援学校や特別支援学級で2年以上の指導経験を積むことを求める通知を出している。この事をどのように受け止めているか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	4 農業振興について	(1) 水田活用の直接支払交付金助成制度が変わることの影響を3月定例会で質問した。生産者への説明、また、どういった反応があったのか。	市 長
	5 地域の持続的発展について	(1) 校区毎の振興計画等、どのように議論されているのか。	市 長 教 育 長
14鶴迫京子	1 環境行政について	(1) ごみ出し困難者のための対策事業について、利用するための条件と手続の方法、併せて過去3年間の利用状況を問う。	市 長
		(2) ごみ出し困難者の実際の状況と、対策事業利用者数には乖離があるのではないかと考えるが、その実情に沿ったきめ細やかで使い勝手の良い事業へ見直すことができないか。	市 長
		(3) 月1回の資源ごみ収集予定日以外に、4品目（ペットボトル・プラスチック類・空き缶類・その他の紙類）については希望があれば月に1回の特別収集が利用できるが、現在の利用状況はどうか。また、特別収集の周知方法を示せ。	市 長
		(4) リサイクルステーションに設置されている金網のボックスは、重さがあることから開閉時に手を挟んでしまうなど怪我につながった例もある。高齢者や子供にとっても扱いやすい形状・資材に改良していく考えはないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
14鶴迫京子	1 環境行政 について	(5) 福岡県直方市では、民間事業者が市役所の敷地内に資源ごみリサイクルボックスを設置しており、市民はいつでもごみを持ち込むことができる。持ち込んだ資源ごみの種類や量によって電子マネーに交換できるポイントが付与される仕組みとなっており、官民共同で市民の利便性向上に寄与している。本市でも取り組む考えはないか。	市 長
		(6) 高下谷親水公園に設置されている木造トイレは老朽化が進んでおり、安全面や衛生面でも、非常に心もとない状況となっている。親水公園の名前にふさわしい、おもてなしの心あふれる新しいトイレを設置すべきではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 物価高騰に伴う支援策について	(1) ウクライナ危機による世界経済への影響や円高による物価高騰により、市民生活が極めて厳しい困難に直面している。コロナ禍により困窮する市民が増えている中、物価高騰を踏まえた市民の暮らしを支援する施策が求められているが、今後、市としてどのような支援を考えているのか。	市 長
	2 防災力の向上について	(1) この夏、停滞する前線などの影響で大雨被害が相次いだ。気象災害が頻発化・激甚化する中で、地域気象防災情報が市民に的確に届き、防災行動へ結びつくような施策の展開について問う。	市 長
		(2) 災害発生時における停電は、電力の復旧が長期にわたる場合もあるため、停電時の備えは極めて大切である。本市の停電時における対応策の現状について問う。	市 長
	3 ヤングケアラーについて	(1) ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定される家事や家族の介護、感情面のサポートをする子供のことを指し、過度な負担が学業や健康、友達関係、将来の進路にも影響を及ぼすことが指摘されている。ヤングケアラーについて、本市ではどのように認識しているのか。	市 長 教 育 長
4 子どものネット依存について	(1) スマートフォンなどが社会に広く普及する中、インターネットの使い過ぎで、健康や生活に支障をきたすネット依存が深刻化している。国の推計では、この10年間でネット依存の疑いのある子供が急増している。本市の現状と対策について問う。	教 育 長	
2 野村広志	1 港湾行政について	(1) 志布志港においては、小口混載貨物の海外輸出台制が整ってきた。農林水産品・食品の輸出増に期待されるどころだが、港湾を抱える地元の自治体として、どのような輸出戦略を持って、推進していくつもりなのか。	市 長
		(2) 海外輸出戦略に特化した専門部署の設置について、機構改革も含めて検討していきたいとの答弁であったが進んでいるのか。	市 長
		(3) 以前質問した港湾計画の変更について、協議が進んでいるようだが、本市の意向も踏まえた計画策定となっているのか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 野村広志	2 地域コミュニティの在り方について	(1) 現在、校区公民館組織から地域コミュニティ協議会へと順次移行が進んでいるが、将来に渡って持続可能な地域を形成するためには、まだまだ課題があると感じている。当局が思い描く地域コミュニティの在り方とは、どのようなものなのか。	市 長
		(2) 地域内の公共施設等は、老朽化が目立つものが見受けられる。公共施設等総合管理計画に基づいて計画的に改修等の事業が図られると思うが、地域コミュニティの中でも、そのような議論を深めていく時期にきているのではないか、今後の考え方について示せ。	市 長
3 永田 梓	1 動物愛護について	(1) 市では所有者不明猫の不妊・去勢手術について、令和3年11月から対象団体にメスで1万円、オスで5千円の手術費用補助を実施しているが、現状では、所有者不明猫の数は思うように減っていないように感じる。現在までの補助実績について問う。	市 長
	2 教育行政について	(1) 志布志市子ほめ条例について、義務教育期間中に1人1回表彰しているが、条例施行から現在までの児童・生徒及び保護者の反応について問う。	市 長 教 育 長
	3 福祉行政について	(1) 結婚50周年を迎えるご夫婦をお祝いするために合同金婚式を開催しているが、コロナ禍における開催状況について問う。	市 長
4 戸山晋司	1 津波対策について	(1) 令和4年度に入り、定例会や住民説明会の中でも津波避難の経路の説明は行われているが、迅速な避難を行うための対策の実施状況はどうか。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 移住を目的に本市を訪れる方々や、観光を訪れるカップルなどが、本市で充実した時間を過ごすために、あずかり保育などの対応を行っているのか。 (2) 近年増えるインクルーシブ公園について考えを問う。 ① 既存の公園の数と管理・運営の状況はどうか。 ② 施政方針でも特別支援教育の充実に取り組むとあり、6月議会でも市長自らインクルーシブ教育について答弁があるが、インクルーシブ公園についてはどのように考えているかを問う。	市 長 市 長 教 育 長
	3 地域エネルギー資源について	(1) 本市における太陽光発電の現状について考え方を問う。 (2) 水道管を利用した新たな発電方式について考えを問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 栢山晋司	4 高齢者や障がい者に配慮した社会づくりの推進について	(1) 施政方針にも認知症対策等の充実・推進に取り組むとあるが、認知症に直結するとの研究が進んでいるヒアリングフレイルについての考えを問う。	市 長
	5 パートナースhip宣誓制度について	(1) 本市においてのLGBTQ+に対する正しい理解についての取組状況を問う。	市 長 教 育 長
5 小園義行	1 行政の在り方について	(1) 旧統一教会（世界平和統一家庭連合）と関連団体との関係の有無はどうか。 (2) 旧統一教会とその関連団体からの被害はないか、市民に呼びかけるとともに相談窓口を設ける考えはないか。	市 長 市 長
	2 国葬について	(1) 故安倍元首相の国葬について、国からの要請等について問うとともに、その受け止め方を問う。	市 長 教 育 長
	3 インボイス制度について	(1) シルバー人材センターの負担の在り方等について、具体的に問う。 (2) 水道事業についての影響はどうか。	市 長 市 長
	4 国保について	(1) 未就学児の均等割額を全額見直す考えはないか。	市 長
	5 生理の貧困について	(1) 学校のトイレに生理用品を配置するよう求めてきたが、現状を問う。	市 長 教 育 長
6 玉垣大二郎	1 人権行政について	(1) 「社会を明るくする運動」と「再犯防止推進運動」の取組について問う。	市 長 教 育 長
	2 買物弱者対策について	(1) 買物弱者解消に向けた取組の現状と今後の対策について問う。	市 長
	3 放置竹林対策について	(1) 放置竹林の現状と竹を利用した産業誘致により、解消は考えられないか。	市 長
7 南 利尋	1 環境保全について	(1) 除草作業などの保全活動が困難になった自治会が多くある。安全・安心の観点からも、早急に対策を講じるべきではないか問う。	市 長
	2 経済対策について	(1) 終息の見えないコロナ禍で、市内飲食店街、タクシー、代行業などは、未曾有の危機に陥っている。本市独自の支援事業に取り組むべきではないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 南 利 尋	2 経済対策について	(2) 物価高騰により、多くの市民が大変な思いを強いられている。全市民に対しての商品券配布を検討すべきではないか問う。	市 長
	3 観光振興について	(1) 第2次志布志市観光振興計画の策定の在り方について問う。	市 長
		(2) 観光事業に精通した戦略コンサルタントを置き、観光トレンド等を考慮した施策を推進していくべきではないか問う。	市 長
4 畜産振興について	(1) 全国和牛能力共進会鹿児島大会へのこれまでの取組と、最終予選会の結果をどう捉えているか問う。	市 長	
	(2) 和牛は、ふるさと納税返礼品の主力である。畜産振興について、抜本的な見直しを図るべきではないか問う。	市 長	
8 隈元香穂子	1 高齢者運転免許証自主返納支援事業について	(1) 物価の上昇やチョイソコしぶしの本格運行開始時期を迎えるにあたって、2万円分のタクシー・給油利用券交付の見直しについて問う。	市 長
		(2) もともと運転免許を持たない高齢者や外出時の交通手段のない高齢者の社会参加について問う。	市 長
		(3) お買物特典制度について、必要の是非を問う。	市 長
2 チョイソコしぶしについて	(1) 本格運行を前に、今後の展開を問う。	市 長	
	(2) チョイソコしぶし登録時、郵送される利用案内やマップなどのリーフレットの内容を充実させていく考えはないか。	市 長	
3 大浜緑地の整備について	(1) 大浜緑地に健康遊具を設置できないか問う。	市 長	
	(2) 屋根のある休息場所の設置ができないか問う。	市 長	

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野広嗣	1 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金の活用について	(1) 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金を積極的に活用し、年々、激甚化・頻発化する自然災害や感染症等から、施設を利用している高齢者等を守るための取組を後押しする考えはないか。	市 長
	2 高額療養費の支給申請手続の簡素化について	(1) 国民健康保険法施行規則の一部が改正されたことにより、国民健康保険の高額療養費の支給申請について、市町村の判断により手続を簡素化することが可能となっている。対象となる市民の負担軽減・市民サービス向上の観点からも、高額療養費の支給申請手続の簡素化に取り組むべきではないか。	市 長
	3 出産・子育て応援交付金について	(1) 政府が11月8日に閣議決定した2022年度補正予算案に、すべての出産家庭に計10万円を支給して妊産婦の伴走型支援につなげる「出産・子育て応援交付金」事業が盛り込まれたが、現時点における本市の認識と今後の対応について問う。	市 長
	4 こども家庭庁を見据えた施策について	(1) 本年6月、「こども家庭庁設置法案」及び「こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」が成立し、明年4月にこども家庭庁が設置される。今後、子供に関する包括的な支援体制の強化、構築が期待されるが、国の動向を踏まえ、本市ではこども政策を今後どのように推進していくのか。	市 長 教 育 長
	5 発達性読み書き障害（ディスレクシア）について	(1) 発達性読み書き障害であるディスレクシアは、学習障害のひとつのタイプとされ、全体的な発達には遅れはないのに文字の読み書きに限定した困難があり、そのことによって学業不振に陥り、二次的な学校不適應などが生じる疾患である。ディスレクシアに関する認識について問う。	教 育 長
2 野村広志	1 物価変動等の対処に関する考え方について	(1) 日本を含む世界各国でインフレが加速して物価が高騰し、市民生活を直撃している。特に介護保険サービスや障害福祉サービス等を提供する事業者は、発生する経費について、ほとんどのモノの価格が上昇しており大変苦慮しているようである。そこで、県が発表した新たな支援策について詳細を示せ。	市 長
		(2) 本市が発注する工事請負契約について、通常予見不可能な物価変動等によって、契約単価の変更を措置する場合の考え方について示せ。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 野村広志	1 物価変動等の対処に関する考え方について	(3) 昨今の物価高騰を受けて、本市の各種団体補助金や交付金補助金等の在り方について、どのような考え方をしているのか示せ。	市 長 教 育 長
	2 戦争遺産の考え方について	(1) 戦争遺産に対する考え方や向き合い方を整理し、後世に語り継ぐべき遺産として、どのように位置づけて考えていくのか示せ。	市 長 教 育 長
3 稲付洋平	1 人口減少について	(1) 人口減少に対する方向性ならびに対策について以下を問う。 ① 人口減少の原因分析について。 ② 志布志市U・Iターン者支援事業の利用状況は。 ③ 今後、人口が増える見通しはあるのか。 ④ 本市のPR力を向上させるべきではないか。	市 長
	2 耕作放棄地について	(1) 耕作放棄地が増加する原因、対策について以下を問う。 ① 耕作放棄地は増加傾向である。原因分析しているのか。 ② 今後の対策案として具体的な計画はないか。	市 長
	3 保育施設・放課後児童クラブ利用申込について	(1) 認可保育施設、放課後児童クラブの利用申込について以下を問う。 ① 申請は期間中の土日を除く8時30分から17時15分となっているが、受付時間を延長できないか。 ② インターネットを利用した申請は可能か。	市 長
	4 商工業小規模事業承継支援対策事業補助金について	(1) 本事業について以下を問う。 ① 支援の状況について ② 市内、市外の補助金差額を無くすべきではないか。 ③ 事業承継したい方をPRしていく考えはないか。	市 長
4 永田 梓	1 生物多様性について	(1) 生物多様性の保全と持続可能な利用について市民の意識向上等を図ることを目的として、先日、九州初となる生物多様性センターがオープンしたが、現状と今後の在り方について問う。 ① 令和4年8月のオープン計画がなぜ遅れたのか。また、今後の事業展開をどのようにイメージしているのか問う。 ② 各地域にビオトープ（生物生息空間）を設置し、環境教育の場として活用する考えはないか問う。 ③ 独自に生物多様性に関する調査・研究を行っている民間団体・個人に対して、調査・研究助成金を交付する考えはないか問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 永田 梓	2 道の駅松山について	(1) 道の駅松山の活性化を地元住民は強く望んでいるが、現状と今後の在り方について問う。 ① シェアキッチンとして、施設の一部を開放する考えはないか問う。 ② 多目的広場にオートキャンプ場を整備する考えはないか。また、ふれあい広場に遊具を整備する考えはないか問う。	市 長
5 持留 忠義	1 畜産振興について	(1) 肉用牛の価格が短期間で下落し、生産者の経営環境悪化や意欲低下などによる生産基盤の弱体化が懸念される中で、経営改善に取り組む生産者を支援するため、国において優良肉用子牛生産推進緊急対策事業が実施されているが、現場の生産者の疲弊は長期にわたっていることから、奨励金単価の見直しなど本市として声を上げることはできないか。 (2) 配合飼料の高騰が続いているが、本市としての見解と、今後の具体的な対応策を問う。	市 長 市 長
	2 茶業振興について	(1) 茶の年間平均価格が十数年にわたって低迷しており、経営状況は厳しさを増している。価格補填に取り組む考えはないか。 (2) 原油価格の高騰に対する支援・助成はできないか。	市 長 市 長
	3 サツマイモ基腐病等への対策について	(1) サツマイモ基腐病の蔓延や発生を予防するため病害虫対策が行われたが、その効果を問う。 (2) サツマイモ基腐病が2018年に発生が報告されて以降、さつまいもの生産に大きな打撃を与えているが、これまで被害を受けた生産者数や面積を把握しているか。 (3) サツマイモ基腐病の影響とともに肥料価格の高騰が続いている。支援・助成を行う考えはないか。	市 長 市 長 市 長
6 隈元香穂子	1 市内商工業者への今後の支援策について	(1) 廃業する事業所が増えているが、物価高騰しぶし版支援給付金に続く支援策の検討はされているか。 (2) 商工会、観光協会などの団体に属さない事業者に対しても情報の共有はできているか	市 長 市 長
	2 産婦人科・小児科のオンライン診療相談及び産婦人科誘致について	(1) 産婦人科オンライン診療・相談の必要性について問う。 (2) 産婦人科医院跡の再活用について検討する考えはないか。 (3) 小児科オンライン相談の必要性について問う。	市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6 隈元香穂子	3 市民目線の市政の在り方について	(1) 市の事務事業を市民に伝達するまでの過程において、当事者を含む関係各位を交えた意見交換の場を設けることの必要性を問う。	市 長
7 南 利 尋	1 新しいまちづくりについて	(1) 新たな拠点づくりを実現するために、官民一体となった具体的なランドデザインを策定すべきではないか問う。	市 長
	2 地域振興について	(1) 本市の特性を生かした新たなグリーンツーリズムの拠点として、旧出水中跡の利活用を図るべきではないか問う。	市 長
	3 観光振興について	(1) 本市を訪れる観光客に対して、点在する観光スポットを紹介し、経済活動を促すためにも、経済活動拠点となる物産館を整備すべきではないか問う。	市 長
		(2) ダグリ岬周辺整備事業が国際の森周辺まで拡張された。国際の森周辺の地形の特性を生かし、世界的に人気のあるジップスライダーや、アスレチック等を整備すべきではないか問う。	市 長
4 スポーツ振興について	(1) 本市から九州大会、全国大会に出場する選手に対して、新たな助成事業を行なうべきではないか問う。	市 長 教 育 長	
8 小 辻 一 海	1 環境行政について	(1) 生物多様性の保全と持続的な利用確保に市民が理解して取り組む必要があると考えるが、進むべき方向性と今後の取組について問う。	市 長 教 育 長
		(2) 生物多様センターの設置場所や人員体制など事業運営について問う。	市 長
		(3) 生物多様性の保全と持続的な利用についての考察や、子供たちへの具体的な教育について問う。	市 長 教 育 長
		(4) メリケントキンソウ撲滅事業に対する検証・評価と今後の取組について問う。	市 長 教 育 長
		(5) 市内各地において、多くの外来生物が確認されているが、駆除や生態系の保護、農林畜産物への被害を防ぐための対策が必要と考える。外来生物の現状と対策について問う。	市 長
		(6) 高齢者、子育て世代、市内企業、市外から移住された方々からごみ分別の簡素化や焼却施設整備等の多くの意見を聞くが、今後の取組について問う。	市 長
9 小園 義行	1 学校給食について	(1) 現在半額補助となっている給食費の全額無償化について今後の考え方を問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9 小園 義行	1 学校給食について	(2) 学校給食調理及び配送業務の民間委託について問う。 (3) 1997年文科省の審議会答申で単独校調理場方式への移行について答申が出されている現状と併せてどのように考えるか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	2 国保について	(1) 来年度の県への納付金額は示されたのか。 (2) 県国保財政安定化基金は令和3年度末でいくらになるのか。 (3) 市町村国保の納付金の上昇を抑制するために基金としていくら活用できるのか。 (4) 基金の運用方針を10月に開かれた国保運営連携会議財政部会で協議されたと聞くが、どのような方針になったのか。 (5) 県の基金の運用の考え方は「県の1人あたり国保事業費納付金額の対前年度伸び率が10%を超過した場合に使える」としているが10%の引き下げを要求すべきではないか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長
	3 インボイスについて	(1) シルバー人材センターの運営についてその後の対応について問う。	市 長
	4 道路行政について	(1) 市道の維持管理について考え方を問う。 (2) 国・県との連携について問う。	市 長 市 長
10 鶴迫 京子	1 防災・減災について	(1) 地震・津波・台風などの自然災害から命を守るため防災・減災対策について、どのように取り組んでいるのか本市の状況を問う。 ① 海岸線一帯の津波・台風対策について ② 津波避難困難区域解消に向けての取り組みについて ③ 志布志市総合防災マップを周知・活用し、市民の自主的な防災意識の向上を図るための取組について ④ 災害対策本部機能の充実・強化、各種災害等に迅速に対応できる体制整備をどのように図るのか。また、庁内体制はどうか。 ⑤ 備蓄対策をどのように推進していくのか。 ⑥ 届出避難所の現状と今後の活用について ⑦ 地域防災リーダー育成への取組は。また、自主防災組織の育成・充実を図るための取組は。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
11 栞山 晋 司	1 学校と保護者の負担軽減について	(1) 文部科学省の「全国の学校における働き方改革事例集」にも記載があるように、学校職員と保護者の双方向の負担軽減を図る取組を行う必要があると考えるが、以下の点について問う。 ① 統合型校務支援システムを活用した、保護者との連絡手段のデジタル化について ② 出欠連絡だけではなく、アンケートにも活用できるアプリ導入の考えはないか。	市 長 教 育 長
	2 ヒアリングフレイルについて	(1) 若年層におけるヒアリングフレイルについての考えを問う。	市 長 教 育 長
	3 創業支援について	(1) 商店街や地元企業の活性化のみならず、人の流れを生み出す新たなプロジェクトや、市外に進学した若年者等の将来的な地元回帰への後押しとなる観点から、創業支援施策の現状を問う。	市 長